

## 警察官を名のる振り込め詐欺が多発！

犯人は警察官のほか、郵便局や銀行協会を名のるなど、複数の人物を登場させて信用させる巧妙な手口ですので、注意してください。

### 犯人の手口！

- 「預金が危ない」等と動揺させる
- 受け取りに来る者は身分証等を提示して信じさせる

#### 手口①「キャッシュカード手渡し型」

- ①郵便局から「あなたの通帳が勝手に作られている。」等との電話が入る。
- ②警察署等の警察官から「犯人を捕まえたら郵便局員だった。すぐにキャッシュカードを作り替えてください。」等と電話が入る。
- ③銀行協会等から「警察から連絡を受けました。暗証番号を教えてください。」「職員を行かせるので**キャッシュカードを預けてください。**」等と電話が入る。
- ④後刻、自宅を訪ねてきた者にキャッシュカードを手渡すと、預金が引き出されてしまう。

#### 手口②「現金手渡し型」

- ①警察署等の警察官から「あなたの口座が詐欺に使用されている。」「このままでは口座が凍結される。」等との電話が入る。
  - ②金融庁や日本銀行、国民生活センター等から「あなたの預金を保護する。すぐに預金を引き出してください。」等と電話が入る。
  - ③金融機関で預金を引き出して帰宅後、自宅を訪ねてきた者に現金を手渡し、だまし取られてしまう。
- ※ 犯人から「金融機関内部に犯人がいる」「このことを窓口で聞かれても言っ**てはいけない**」等と口止めされます。

### 防犯ポイント！

#### 「現金、キャッシュカードを預かる」「暗証番号を教える」は詐欺！

たとえ銀行協会職員等であっても、絶対に現金やキャッシュカードを渡したり、暗証番号を教えるはいけません。

#### 折り返し電話で確認する！

警察や銀行協会などからの電話でお金が出た時は、相手の部署と氏名を確認し、電話帳などで調べた電話番号にかけ直して事実確認をしてください。

#### 必ず誰かに相談する！

電話でお金が出た時は要注意。すぐに行動せず、必ず家族や知人、警察に相談してください。

警察からの要請により、金融機関等では高齢者の高額出金に際して用途確認や警察への連絡を実施しており、本当のことを話していただければ被害防止は可能ですので、ご協力をお願いします。

#### 固定電話に防犯対策をする！

犯人からの働き掛けの多くが固定電話です。「知らない番号からの電話に出ない。」「常時留守番電話に設定し、相手の用件を確認してから応答する。」といった対策が有効です。また、電気店などで販売されている防犯機能付き電話通信機器を設置することも有効です。

